

公益財団法人かめのり財団

2022年度事業報告

2022(令和4)年4月1日～2023(令和5)年3月31日

2022(令和4)年度は、コロナ禍での経験を踏まえ、設立15周年記念事業など、事業の大部分を対面とオンラインを併用し実施した。

基本方針として、定款にうたわれる3つの柱

1. 高校生交換留学および大学院アジア留学生への奨学事業
2. 青少年の交流および言語教育支援を助成する国際交流事業
3. それらを推進するために、かめのり賞の顕彰、講演・シンポジウム等

その基盤支援事業

を実施することにより、日本とアジア・オセアニア諸国との相互理解・国際理解の促進を図る努力をした。以下、2022年度主要事業の実施状況と成果を報告する。

1. 青少年留学支援事業

(1) 高校生交換留学支援

15周年記念事業のために、過去の参加者のデータの整理を行った。

(2) 大学院留学生支援

以下の奨学生6名に月額20万円を支給した。

2022年度 大学院留学アジア奨学生

宜 鯤 (中国)	Mr. Yi Kun	ギ コン	2020.4-2023.3	京都大学大学院 経済学研究科 経済学専攻
孫 心悦 (中国)	Ms. Sun Xinyue	ソン シンエツ	2020.4-2023.3	同志社大学大学院 社会学研究科 社会福祉学専攻
尹 美香 (韓国)	Ms. Yun Mihyang	ユン ミヒャン	2021.4-2023.3	早稲田大学大学院 法学研究科 民事法学専攻
金 叙娟 (韓国)	Ms. Kim Seoyeon	キム ソヨン	2021.4-2023.3	東北大学大学院 文学研究科 総合人間学専攻
郭 凱琳 (マカオ)	Ms. Kok Hoi Lam	カク カイリン	2022.4-2024.3	関西学院大学大学院 経営戦略研究科 経営戦略専攻
Mr. Ho Wai Yip (シンガポール)		ホウ ワイ イップ	2022.4-2023.3	立教大学大学院 異文化コミュニケーション研究科

大学院留学アジア奨学生証書授与式を2022年4月2日に開催した。新奨学生2名、現役生3名と修了生2名と、奨学生選考委員およびOB/OG4名が出席した。現役生2名は母国での研究調査のため母国に滞在中につきオンラインで参加した。

大学院生へのサポートの一環として、2022年9月13日～15日の3日間、夏の研修交流会を長崎にて実施し、奨学生5名が参加した。各自の研究テーマの発表と意見交換を行った他、長崎市内にて地方都市体験プログラムを実施した。

加えて、2023(令和 5)年度採用の「大学院留学アジア奨学生」の募集・選考を行った。指定校 24 校のうち 14 校から候補生の推薦があり、2023 年 2 月 27 日に選考試験(面接)を実施し、奨学生選考委員会により以下の 6 名を奨学生として決定した。

また、2023 年度採用者のための大学院留学アジア奨学生証書授与式を、かめのり同窓会 2023 と同日の 2023 年 3 月 21 日に開催した。新奨学生 6 名、現役生 1 名と修了生 5 名と、奨学生選考委員および OB/OG 6 名が出席した。

麻 俊凡 (中国)	Ms. Ma Junfan	マジュンボン	2023.4-2026.3	上智大学大学院 文学研究科 新聞学専攻(博士後期)
曹 怡 (中国)	Ms. Cao Yi	ツウイ	2023.4-2026.3	お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 比較社会文化学専攻(博士後期)
陳 籽言 (中国)	Ms. Chen Ziyang	チェンジアン	2023.4-2025.3	横浜国立大学大学院 環境情報学府 自然環境専攻 生態学プログラム(博士前期)
グ 弦俊 (韓国)	Mr. Koo Hyeonjun	グ ヒョンジュン	2023.4-2026.3	立教大学大学院 社会学研究科 社会学専攻(博士後期)
黄 沐春 (中国)	Ms. Huang Muchun	コウモクシュン	2023.4-2025.3	早稲田大学大学院 商学研究科(博士前期)
侯 心琦 (台湾)	Ms. Hou Sin Chi	ホウシンチ	2023.4-2025.3	名古屋大学大学院 経済学研究科 社会経済システム専攻(博士前期)

2. 青少年交流および言語教育支援事業

(1) 青少年国際交流

コロナ禍による活動制限を受け海外への派遣は引き続き難しい状況であったため、日本の青少年を対象とする海外への派遣事業の実施を見合わせた。2022 年度は次の 3 つの事業を実施した。

① かめのりカレッジ 2022 修了式

2021 年度に実施した「かめのりカレッジ 2022」の修了式を、2022 年 4 月 16 日に対面にて実施した。アジアからの留学生を含む国内在住の大学生 23 名が参加し、英語でのチームプレゼンテーションを行った。

② 東南アジア 7 개국日本語教育関係者招へいプログラム

2020 年度に計画し延期となっていた国際交流基金関西国際センターとの共催事業「東南アジア高校生招へい事業」の実施が困難なため、それに代わり「東南アジア 7 개국日本語教育関係者招へいプログラム」を 2023 年 2 月 21 日～3 月 1 日に実施した。中等教育レベルにおける日本語教育拡大や、コロナ禍後の青少年訪日研修の実現を目指し、学校長や教員、教育省担当者等、7 개국(インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア、ラオス、カンボジア、ベトナム)から計 24 名を招へいし、施設や学校の視察、文化プログラム体験の機会を提供した。

③ 高校生カンボジアオンラインスタディツアー

(公社) 日本ユネスコ協会連盟と共催で 2019(令和元)年度に実施した「第 6 回高校生カンボジアスタディツアー」の参加者が実行委員となり、オンラインでのスタディツアーを 2022 年 8 月 6 日～7 日に実施した。ユネスコスクール 8 校から約 20 名の高校生が参加し、同連盟カンボジア事務所や現地寺子屋と中継でつなぎ、ユネスコによる国際協力の現場をオンラインで体験し、現地との「つながり」を感じる貴重な学びの機会を提供した。

(2) 国際交流事業助成

① 緊急支援プロジェクト助成

2021 年に実施した「緊急支援プロジェクト助成」で採択された 7 団体に 2022 年度分の助成金 17,311 千円を支給した。

採択団体、事業、助成額は以下のとおりである。

団体名	事業名	2022 年度支給額 (助成金総額)
認定特定非営利活動法人 ふじみの国際交流センター	コロナ禍で職を失い、生活困窮に陥っている外国人の就職活動と、生活の安定に向けた支援 (埼玉県ふじみ野市)	1,449,000 円 (3,130,000 円)
一般社団法人 多文化共生コスモ越谷	COVID-19 禍における在住外国人の就労支援とワクチン接種に関する事業 (埼玉県東部及び中央地区)	490,000 円 (3,026,000 円)
一般社団法人 YOU MAKE IT	COVID-19 の影響を受け、生活が困窮する福岡在住留学生に対する食料支援と相談を通じた調査および情報発信事業 (福岡県内及び近隣県)	2,297,000 円 (2,982,000 円)
特定非営利活動法人 名古屋難民支援室	東海地域に暮らす難民のコロナ禍における困窮・孤立防止のケースワーク及び実態調査事業 (愛知県名古屋市を中心とした東海地域)	4,076,000 円 (6,000,000 円)
特定非営利活動法人 松山さかのうえ日本語学校	国際子ども食堂を通じた多文化共生プロジェクト (愛媛県松山市)	2,800,000 円 (5,700,000 円)
特定非営利活動法人 地球市民の会	外国人住民の生活全般を支えるセーフティーネット構築事業 (九州)	1,199,000 円 (4,199,000 円)
公益社団法人シャンティ 国際ボランティア会	生活・法的支援による包括的生活安定支援 (東京都豊島区及びその周辺)	5,000,000 円 (6,000,000 円)
	合計	17,311,000 円 (31,037,000 円)

② 多文化共生地域ネットワーク支援事業

2022 年度の新規事業として、日本国内での多文化共生に向けた担い手育成とネットワーク形成のための研修およびネットワーク会議を実施した。2022 年 12 月から 2023 年 2 月にかけて

て、佐賀・東京・広島の3会場で「かめのり多文化共生塾」を開講し、各会場で前期・後期の計4日間の研修を実施した。2023年3月22日に3地区の参加者を対象に「多文化共生の担い手ネットワーク会議」を開催し、各会場で事前に選定された11名より、次年度事業についての発表が行われ、2023年の事業助成金が採択された。

③ ベトナムで活動している日本NGOの運営の実態と今後の活動に必要な人材育成等に関する委託調査

2021(令和3)年度に実施した調査の報告会を2022年4月27日、オンラインで開催した。調査結果の報告とともに、(1)ベトナムで活動するNGOの職員の視点、(2)ベトナムで活動する日本の国際協力NGOの視点、(3)ベトナムで活動する人々・団体への協力・参加の在り方という視点から、登壇者が議論を交わした。

④ 外国人住民支援に係る多文化共生調査

日本国内における外国人住民の多様化や増加に伴い、一つの機関・団体だけでは対応・解決が困難な現状で、近年大雨災害が深刻な北部九州を対象に、外国人住民を支援する機関・団体のネットワーク化の調査を、(特非)地球市民の会に委託し、2022年10月より半年間かけて行った。

(3) 海外日本語教育サポート事業

① にほんご人フォーラム事業

延期していた(独)国際交流基金との共催事業「にほんご人フォーラム 2020(タイ)」は中止とした。2022年度実施の事業としては、にほんご人フォーラムに参加した国々での関連事業への支援や、10年のまとめを行った。

a) にほんご人フォーラム10年のまとめ

2012年の開始より10年を経た本事業の成果及び課題を明らかにするため、にほんご人フォーラム及びその関連事業の実施内容を整理し、過去の参加者へのアンケートやインタビューを行った。2023年2月19日に(独)国際交流基金日本語国際センターとの共催で「にほんご人フォーラム10年のまとめ報告会」を実施し、東南アジア5カ国および日本の過去参加者を招いてのパネルディスカッションや懇親会を行った。

b) その他

(独)国際交流基金の海外拠点と共催で、以下の事業を実施した。

事業名	共催拠点	実施期間	参加者/応募作品数
にほんご人フォーラム 2022 in インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2022年9月23日~25日 2022年10月1日・2日 2023年1月20日・21日(最終発表)	インドネシア人高校生44名、教師30名、ファシリテーター21名
中等教育日本語教育リーダー教師育成プロジェクト	バンコク日本文化センター	2022年6月~2023年3月	タイ人教師14名
タイ中等教育教員 訪日スカラシップ 事前研修	同上	2022年9月23日	タイ人教師30名

第4回フィリピン中学生・高校生日本語ビデオコンテスト	マニラ日本文化センター	2022年9月～11月	フィリピン人中高生より113作品
にほんご人フォーラム 2023 in フィリピン	同上	2023年2月6日～8日	フィリピン人高校生 15名、教師11名、企画運営側教師13名
小中学生・高校生日本語ビデオコンテスト	ベトナム日本文化交流センター	2022年9月～2023年1月	ベトナム人小学・中学・高校生より99作品
にほんご人フォーラム 2022 (マレーシア)～中等教育日本語教師キャンプ～	クアラルンプール日本文化センター	2022年8月23日～25日(北部) 2022年9月20日～22日(南部) 2022年10月4日～6日(中部)	マレーシア人教師88名

④ ベトナム日本語教育への支援

2021(令和3)年度から3カ年事業として支援している「ベトナム初等日本語教育教科書等作成・整備事業」は、引き続き、ベトナムの初等教育において日本語教育の新カリキュラムに沿った教科書等の作成事業を、(独)国際交流基金ベトナム日本文化交流センターとともに支援した。2022年度は7,682,861円を助成した。

3. 国際交流および人材育成の講演・セミナー事業

(1) 異文化理解講演会

3年ぶりとなる當作靖彦教授の講演「英語教育：未来にむかって」を佐賀県・吉野ヶ里町三田川健康福祉センターふれあい館でのイベント「英語教育・ワンコイン・セミナー in 吉野ヶ里 FINAL」の基調講演として2023年2月25日に実施した。参加者数は118名だった。

その他、国際交流および人材育成の講演・セミナー事業は15周年記念事業として実施した。

4. 国際交流および人材育成に関する顕彰事業

第16回かめのり賞は、かめのり大賞2部門(草の根部門、人材育成部門)、かめのりさきがけ賞の計3団体を顕彰した。将来を見据えた、地道な努力で心の絆を深め、相互理解に貢献している団体・個人の活動を評価した。正賞のトロフィーと、副賞として100万円の活動奨励金を贈呈した。20の団体・個人の応募があった。

【かめのり大賞 人材育成部門】 認定特定非営利活動法人 日本ミャンマー豊友会

【かめのり大賞 草の根部門】 Minami こども教室

【かめのりさきがけ賞】 特定非営利活動法人 北関東医療相談会

5. その他

(1) 広報活動の強化

現在のIT環境に合わせてホームページの全面改訂が必要となり、コンペティション形式での審査を経てウェブ制作者を選定し、ニュース投稿やフォーム作成が可能で、PC・スマートフォン・タブレットでの表示が最適化されたレスポンス対応のホームページを制作した。

同時に従来のホームページでも継続的に情報発信を行い、当財団の活動を、関係団体をはじ

め広く周知するために、事業活動を紹介するニュースレター「かめのりコミュニティ」を7月、11月、3月と年3回発行した。

(2) IT の整備

リモート体制継続のため、ノート PC の使用や FortiGate によりセキュリティが強化されたりリモート環境を維持した。また、過去の奨学生に関して現状を把握して、断続的にかめのり財団との関係をつなげるべく、OB・OGのネットワークづくりのためにIT環境の整備を行った。

(3) 15周年記念事業

コロナ禍で1年延期した、かめのり財団設立15周年事業を当初の計画から一部変更して、次の5つの事業を実施した。

① 設立15周年記念かめのりフォーラム2022

当財団が2021年に設立15周年を迎えたことにより、「設立15周年記念かめのりフォーラム2022」を2022年11月10日にアルカディア市ヶ谷で開催した。特別講演としてアライアンス・フォーラム財団会長/DEFTA Partners グループ会長の原文人氏より「狂人日記と公益資本主義」をテーマに講演いただき、聴衆から大好評を博した。フォーラム後半では第16回かめのり賞の表彰式および受賞団体の活動紹介を行い、財団内外の関係者が交流した。

② かめのり同窓会2023

2017年度～2022年度に実施した過去のプログラム参加生および全奨学生を対象に、2023年3月21日にアルカディア市ヶ谷で「かめのり同窓会2023」を実施した。会場には日本各地や韓国から100名、17名が海外よりオンラインで参加。会場では日本文化体験プログラムとして日本舞踊や三味線の演奏、翫間によるお座敷芸が披露され、年齢や出身を超えて交流し交友関係を深める機会となった。会の最後には奨学生OBよりかめのり同窓生のネットワーク作りについて呼びかけがあり、参加生間の自発的なコミュニティ作りへの期待が持たれた。

③ かめのりカレッジ2022サマー

国内在住の大学生を対象に、2022年7月23日にオリエンテーション、8月30日～9月2日の3泊4日で、レクターレ葉山湘南国際村にてメインプログラムを実施した。日本人14名に加え、インドネシア、フィリピン、マレーシアの大学生3名を招へいした。今後グローバルに活躍するために必要なマインドセットとスキルの醸成を目的に、事前オリエンテーション、4回の英語オンラインレッスンの後、メインプログラムでは講師陣の講義を受け、さらにチームディスカッションを重ねた学生たちが最終プレゼンテーションを行った。

④ かめのり未来をつくるリーダーシッププロジェクト2022

ライフスキル教育で実績のある(特)青少年育成支援フォーラムへの委託事業として、国

内在住の高校生・大学生を対象に、リーダーシッププログラムを新たに開発し実施した。2022年9月7日～28日の期間にオンライン研修及びオンデマンド研修を、10月9日・10日に1泊2日の合宿研修を実施し、高校生7名、大学生12名の計19名が参加した。

⑤ 連続セミナー

「国際交流の新局面」と題したオンライン連続セミナーを、2022年12月から2023(令和5)年1月にかけて全4回実施した。日本国内の多文化共生をテーマに、第1回「地域における外国人のくらしの『これまで』と『これから』」、第2回「地域における外国人の就労の『これまで』と『これから』」、第3回「多文化共生を支援する助成プログラムの『これまで』と『これから』」と題して各回3名のゲストスピーカーを迎え実施し、第4回は総括を行った。

以上